

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	7013-1	(H.29)No.	7013-1
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	市立病院(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	総務企画室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード
病院事業会計	(中事業名)※予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	3	地域医療
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
基本理念である「市民のみなさまに親しまれ信頼される病院を目指します」を常に念頭に置いて市民の命と健康を守ります。
事業内容
良質で高度な二次医療の提供と救急医療に重点を置き、地域の中核病院として機能を果たすため、地域医療支援病院の承認や災害拠点病院の指定を受け、在宅医療救急システムや重症患者の在宅訪問診療、24時間365日の小児二次救急を実施しています。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	・病床数：一般200床 ・実績 年間延患者数： 入院63,653人 外来87,376人、一日平均患者数： 入院174人、外来358人)	・病床数： 一般200床 ・計画 年間延患者数： 入院62,780人 外来88,816人 一日平均患者数： 入院172人 外来364人	H.31年度(事業計画) ・病床数： 一般200床 ・計画 年間延患者数： 入院62,220人 外来93,500人 一日平均患者数： 入院170人 外来384人	H.32年度(事業計画) ・病床数： 一般200床 ・計画 年間延患者数： 入院62,050人 外来95,500人 一日平均患者数： 入院170人 外来393人

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,984,414千円		3,147,429千円	3,016,000千円	2,993,000千円	2,967,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		12,754		31,482	15,000	15,000	15,000
地方債		15,000		121,900	200,000	200,000	400,000
その他( )		1,737,409		2,118,807	1,926,000	1,953,000	1,777,000
一般財源	0	1,219,251	0	875,240	875,000	825,000	775,000
人工数							
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	2,984,414千円	0千円	3,147,429千円	3,016,000千円	2,993,000千円	2,967,000千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
地域医療支援病院や災害拠点病院としての取組や24時間365日の小児二次救急医療の提供、在宅医療救急システムの運用、在宅訪問診療の実施、DPC対象病院として医療の標準化や後発医薬品への切り替え、診療材料の値下げ交渉等に取り組むとともに、より一層の収益確保のため病床利用率や入院期間の適正な運用に努めました。また、病院経営の効率化や伊賀地域の適切な医療提供体制の再構築に取り組むための指針である「第2次名張市立病院改革プラン」(新病院改革プラン)の実施計画を平成29年3月に策定し、計画に沿った取組を行いました。産科の設置については、国や県、医師会等関係機関と調整を図りました。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
-------------------------------------------------------------------------	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
引き続き、医師確保並びに医療機器の更新、導入による医療体制の充実と良質な医療サービスの提供に努めるとともに、新病院改革プラン及び同プラン実施計画に沿って収益確保の取組や診療材料の見直しによる経費の削減等を進めて経営基盤の強化を図ります。また、産婦人科の開設についても、大学病院や地域の産婦人科施設と連携して進めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画